

災害が起こっても 支え合える地域づくり



平成27年度災害ボランティアセンター設置運営訓練 in 財光寺中学校
日向市社会福祉協議会では、自然災害の発生に備えて、災害ボラン
ティアセンターの設置運営訓練を実施しています。
詳しくはP3へ

日向市社会福祉協議会

社協だより

ハートフル
10
月号
2015年

～安心して下さい！やっていますよ！～

地域福祉活動企画コンテスト実施企画第2弾

よこちゃん&きよちゃんの

ふくし食堂

今年の夏、8月23日(日)に、日向市総合福祉センターにて、あるふくし活動画実施されました。その名も「ふくし食堂」人と人が集うことで生まれる“つながり”をテーマとして、地域福祉リーダー・サポーター(がむしゃら応援団)、地域福祉コーディネーター連絡会(おせっ会)が主体となって事業を展開しました。

きっかけは??

きっかけは『地域福祉サポーター・リーダー養成講座』の企画コンテストから始まった・・・

「福祉=ふくし」について興味や関心をもってもらう、あるいは協力者を増やすことを目的に3年前から取り組んでいる、「地域福祉リーダー・サポーター養成講座」。ふくしを学んだ地域福祉サポーター・リーダー(がむしゃら応援団)から、地域住民の“**ふだんのくらしをしあわせに**”するための企画書を出し合う「地域福祉活動企画コンテスト」。ふくし食堂は、平成26年度のコンテストで上位入賞した企画です。

“考えるよりまずやってみよう”という、企画者及び企画賛同者の想いから、実現した住民主体の地域福祉活動です。



企画に賛同して下さった方が中心となって作戦会議

※ふくし食堂って?・・・材料費はもちろんゼロ円で、食材を自分たちで集めて、集まっただけの食材で、みんなで調理して一緒に食べる集いの場です。



何をつくったの?

どんな人と一緒に?

やってみてどうだった?

材料費はもちろんゼロ円ですから、食材をみて決めました。メニューは夏野菜カレーです。定番カレーや、豆腐カレー、男の子のカレーや鹿肉カレー等、インド人もビックリ!

いろんな分野から参加者が集いました。児童・障がい者・高齢者等様々な地域住民が参加して、みんなが主役のみんなの食堂です。

参加者それぞれに役割があって、味見係や料理番やら。時間とともに緊張もほぐれ、和気あいあいに。



0円で集まった食材を使って・・・



みんなで作って・・・



みんなで食べる!!



いろんな出逢いと学びが・・・

参加者の感想



奈須昊誠くん(10) 左
恵丸くん(5) 右
ふくし食堂に参加して、楽しかった。またみんなに会いたい。

初めて見る車いすに興味津々。こういうふれあいもふくし食堂ならではの→



岡本 公明さん(39)
ふくし食堂楽しかった。障がいなど関係なく参加できました。次はバーベキューがいいなー(笑)



“つどう”ことで生まれる人と人とのつながり

このふくし食堂は、いつでもどこでもだれでもできる福祉活動です。人と人がつどうことで生まれる人とのつながり。地域全体で広がってほしいです。



ふくし食堂に係るイラストすべて：ペンネーム葉さん



いざというときに備えて…

財光寺中学校

災害ボランティアセンター設置運営訓練

9月19日(土)、財光寺中学校運動場にて、「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施しました。当日は、炎天下の中、防災関係機関及び、地域のボランティア、財光寺中学校の生徒約70名の参加があり、災害が起こった際に、地域を守る仕組みについて全員で考えました。今回は、「南海トラフ巨大地震」による津波被害を想定した内容で、実際にがれき撤去を想定したボランティア活動なども交えながら、実践に即した訓練となりました。



★参加者の感想★

- ・災害が起こった時は、もっと人が多いし、もっと大変。今日学んだことを家族や友人に伝えていきたい。(財光寺中学1年生)
- ・訓練は数を重ねて、今回参加されていない方にもどんどん参加してほしい。特に若者のチカラが必要。
- ・実際の現場はもっと慌ただしいと思う。ボランティアとしての臨み方(現場への入り方)についてももっと考えていく必要がある。
- ・センター運営は、社協スタッフだけでは厳しいと感じた。今回参加された方々や、地域のボランティアの皆さんなど、市をあげて日頃から情報の共有や、訓練の参加など日頃から関わっていく必要があると感じた。

災害ボランティアセンターの運営力=地域の復旧・復興力 私たちと一緒に災害ボランティアセンターについて考えませんか？

この度の、東北地方を中心とした豪雨洪水被害。各地の被害状況が明確になってきている中で、全国各地の災害ボランティアが地域に向き、被災地を支えています。茨城県常総市では、シルバーウィーク期間中に約14,000人のボランティアが活動されました。また、それに伴い、現地の災害ボランティアセンターも昼夜動き続け、ボランティアの想いを、被災地に繋げるために運営しています。もし同じような、あるいはそれ以上のボランティアが日向に訪れた時、ともに災害ボランティアセンターの運営に携わる“協力者”が必要です。日向市ボランティア・市民活動センターでは、今後「災害復旧・復興応援団(仮称)」を立ち上げ、災害ボランティアに関する講座や、訓練を会員の方と実施していく予定です。ぜひ、災害ボランティア登録をして、日向市の復旧・復興力を高めていきましょう。災害ボランティア登録は日向市ボランティア市民活動センター(52-2577)まで

福祉専門職を

“笑顔”に“元気”にしたい!

主催：日向市社会福祉施設等連絡会(通称：施設連)

第3回「あこがれ福祉マン・ウーマンの集い」



日向市社会福祉施設等連絡会は、現在、日向市内に所在する社会福祉施設や介護事業所、福祉関係機関など、66施設・事業所が加盟しており、相互の連携強化や専門職としてのスキルアップを図るための取り組みを継続して行っています。

主な活動としては、高齢者、障がい児者、児童の領域に分かれた部会活動を行っており、専門職として所有する技術・技能(福祉専門スキル)を地域住民に提供し、地域の福祉力を高め、住民主体の地域福祉を推進することに努めています。

8月28日(金)には「あこがれ福祉マン・ウーマンの集い」が開催されました。この集いは**福祉専門職を“笑顔”に“元気”にする!**という目的があり、今年で3回目の開催となります。各部会(高齢者、障がい児者、児童分野の職員)から代表1名ずつ、福祉や、仕事に対する熱い想いを発表し、発表を聞いた参加者の皆さんは“笑顔”に“元気”になっていました。

利用者様のために、そして、地域住民の皆様のために、これからも**“顔晴って”**(頑張って)いきます!!



【参加者の声(アンケートより一部抜粋)】

- ✿ 社会人になって5か月で、色々とお悩みことなどありますが、他の職場で働いてる方々の話を聞いて、皆さん色々な経験をしていると分かり、自分もがんばろうという気持ちになりました。
- ✿ 若い福祉職の方の発表を聞き、仕事への熱意を感じました。熱意、やる気を持てる職場づくりは重要だと思いました。
- ✿ 同じ福祉の仕事に就く方々のお話を聞いて良かったです。仕事内容は違っていても、同じような経験や思いをされていて共感する部分があり、自分を見つめ直すことができました。



募っているのは やさしさなんだと思う

平成27年度赤い羽根共同募金運動スタート

赤い羽根共同募金は、**募金をおつめる活動**

計画募金です！ 運動期間：10月1日(木)～12月31日(木)

募金は、来年度に必要な福祉事業費を目標額にしています！
来年、日向市で必要な福祉事業費を考えると、必要な募金額として
今年の目標額は**6,772,000円**になります。 ※募金は強制ではありません。

| | | | |
|-------|------------|---------|----------|
| ☆戸別募金 | 3,120,000円 | ☆街頭募金 | 800,000円 |
| ☆法人募金 | 1,800,000円 | ☆学校募金 | 150,000円 |
| ☆職域募金 | 900,000円 | ☆その他の募金 | 2,000円 |

皆様のご理解とご協力、募金をお願いいたします。



じぶんの町を良くしたい！そのやさしさや思いやりは誰もが持っていますが、いつでも好きな時にボランティアをしたり、困っている方のお手伝いや手助けをできるというわけではありません。

でも赤い羽根共同募金は、
「じぶんの町を良くしたいという想いを届ける一つの方法」です。

直接、活動ができなくても「募金」という方法でその活動を手助けすることができます。

また、「募金をする」以外にも、ボランティアとして街頭募金活動で「募金を呼びかける」のも想いを届ける方法です。毎年、多くのボランティアに協力いただいています。今年度も市内のイベント会場などで街頭募金活動を実施していきますので、ぜひ参加してみませんか？



じぶんの町を良くするのは、誰だろう。

じぶんが住んでいるこの町が、少しでも良くなる。

それはたぶん、住んでいる人みんなにとって嬉しいことだと思います。

じぶんの町を良くしたいという想い、それはやさしさと思いやりです。

「じぶんの町を良くするしくみ」これが赤い羽根共同募金です。

募金をつかった活動

集まった募金は、翌年度に活用

平成26年度赤い羽根共同募金実績

| 区分 | 募金額(円) | 活動内容 |
|------|-----------|---|
| 戸別募金 | 2,955,325 | 区長公民館長連合会の協力により91区各世帯からの募金をいただきました。 |
| 街頭募金 | 654,561 | 十五夜祭や産業合同フェスタ等でボランティアによる募金呼びかけを行い、来場されている皆様よりいただきました。 |
| 法人募金 | 1,591,312 | 民生委員児童委員にご協力いただき、社協役職員と企業訪問し、市内335社より募金いただきました。 |
| 学校募金 | 131,918 | 市内小中学校の児童生徒に組み立て式募金箱を配布し、募金をいただきました。 |
| 職域募金 | 805,407 | 社会福祉施設の職場において、職員の皆様にクオカード募金でご協力いただきました。 |
| その他 | 325 | (預金利息) |
| 合計 | 6,138,848 | |

この募金6,138,848円は、宮崎県全体で3,948,000円、日向市では2,190,848円が

在宅介護者の会「思いやりの会」、高齢者クラブ連合会、東郷町身体障害者福祉会、日向市障がい者団体連絡協議会、日向市視覚障害者福祉会、日向聴覚障害者協会、肢体障害者「友愛会」、日向市肢体不自由児父母の会、心臓病の子どもを守る会、日向市保育協議会、市内の小中学校、県北地区里親の会、日向市母子寡婦福祉連絡協議会、日向市区長公民館長連合会、日向市ボランティア連絡協議会、市内ボランティア団体、日向地区更生保護女性会、日向市民生委員児童委員協議会

の福祉活動費として平成27年度事業に使われます。



【募金活動や募金の使いみちなどに関する問い合わせ】

宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会

〔(福)日向市社会福祉協議会内〕

TEL: 52-2572

担当: 穴谷・田村

動いてみてわかったこと！ 地域福祉活動報告

2015 大王谷学園初等部 6年生福祉教育 夏休み特別企画

私たちの“想い”を“カタチ”にしようプロジェクト!

大王谷学園初等部では、学校と地域、社協が連携・協働して、“地域を基盤にした福祉教育プログラム”の実践に取り組んでいます。

1学期中に実施した合計6回（13時間）の福祉教育プログラムをとおして、児童一人ひとりの福祉への正しい理解と自分たちが暮らしている地域の生活福祉課題の理解、その課題を解決するための24の“行動計画書”（アクションプランシート）を作り出すことができました。

今回、この学びを活かした新たな取り組みとして、夏休みの特別企画と題して、地域課題解決のための児童による福祉活動の実践にチャレンジしました。活動へは、7グループ、16名の6年生児童が参加し、8月中に、合計17回の地域福祉活動を行いました。

8月10日（月）参加者全員で“福祉活動調整会議”



地域の課題解決のために“自分たちでできることを自分たちでやる”何を、いつ、どこで、方法・手段、必要なモノ、関係機関への連絡・調整スタッフの指示ではなく、全て自分たちで“考え”“行動する”

各グループが解決しようとした地域課題は…

ポイ捨て！ や ゴミ問題！

児童の“想い”

⇒ ゴミつない地域を！ きれいな地域に！



— 活動してわかったこと・感想 —

自分が拾ったところに次の日またゴミが落ちていた、腹が立つ！
ポイ捨てが多いのではなく、無関心な人が多いのかも…
ゴミを拾えば、ゴミは少なくなるのがわかった
私たちでもやればできる！ 動けば変わる！
人の役に立つことはうれしい！

私たちは、考えるだけでなく、動いてみた！



かじっキー



キャンハゲ



はらぺこリンリン調査隊



亀崎中エース少年探偵団



亀崎東ひまわり&スマイル



ひまわり



亀崎中キッズ調査隊

じどうかん・センターだより 10月号

指定管理者として、日向市から管理を受託して事業運営を行っています。

児童館・児童センターからの行事のお知らせ

いよいよ開催!! 10月3日は…『児童センターまつり』

日 時:平成27年10月3日(土) 13:00~15:30
場 所:日知屋児童センター(日知屋公民館横)
参加費:入場チケット 小学生:300円 未就学児(保護者同伴):200円
※入場チケットの購入は14:30までになります。



輪投げやくじ引きなど
楽しいゲームがたくさん!!

日知屋児童センター TEL:52-8443

10月16日(金) 10:30~11:30

幼児親子対象「読み聞かせ会」
読み聞かせサークル「めにめに」の方が、本や紙芝居、手遊びなどをします。ぜひ、遊びに来てください!!
申込締切:10月9日(金)



10月24日(土) 10:00~13:00

小学生児童対象「レッツクッキング」
みんなでお昼ご飯をつくって食べよう!
今回のメニューは「ロコモコ丼」!
場 所:日知屋公民館調理室
申込締切:定員になり次第終了
※参加者は、エプロン、三角巾、ハンカチをもってきてね!!



大王谷児童館 TEL:50-1117

10月 8日(木) 10:30~11:30

幼児親子対象「省エネ講座～親子でいっしょに!」
九州電力の省エネ講座です。親子で簡単なおもちゃを作しましょう!!
※定員に達すると、キャンセル待ちになります。

10月22日(木) 10:30~11:30

幼児親子対象「おもちゃ広場」
児童館の遊戯室がおもちゃ広場になるよ!!優しい感触の手作りの木のおもちゃがいっぱい!!ぜひ、遊びに来てね!!

10月31日(土) 14:00~15:30

幼児親子対象「和太鼓に親しもう」
和太鼓グループ「天地鼓響」による迫力ある太鼓演奏が聴けるよ!太鼓叩きの体験もできます。
締 切:10月29日(木)



11月 5日(木) 10:30~11:30

「親子でリズム遊び♪」
いろいろなリズムに合わせて体を動かしてみよう♪動きやすい服装でどうぞー!
定員20組!
※定員に達した時はキャンセル待ちになります。

木育で感性を広げる!! おもちゃ広場開催!!

8月21日(金)と22日(土)に日知屋児童センターにておもちゃコンサルタント木育サポーター 眞志喜耕一さんの「おもちゃ広場」を開催しました。2日間で総勢150名を超える方々に来場していただき、大変賑わいました。大人も子どもも木のぬくもりや香りに癒されて終始、和やかな時間が流れていました。日知屋児童センターではこの取り組みを毎年の行事にしたいと考えています。未体験の方は是非、来年来てくださいね!!



地域の方をおもてなし!!世代間交流事業(日知屋)

9月5日(土)に日知屋児童センターにて、世代間交流事業として、江良区高齢者クラブ「江良みどり会」の方々を招待し、「おもてなしカフェ」を実施しました。交流会では、子どもたちがみどり会の方々と一緒にゲームをしたり、昔の道具の写真などを見ながら昔話を聴いたりしました。終始、笑顔の絶えないにぎやかな会となりました。今後、今回出逢えた方と地域で会ったときに、子どもたちから声を掛けるなど、温かい地域づくりのきっかけになればと思います。



平岩ふれあい館 講座受講生募集

講座名：「ちぎり絵教室」
内容：干支（鳥）のちぎり絵をします。
ちぎり絵が初めてという方もどうぞ!!

対象者：日向市内在住の60歳以上の方

場所：平岩ふれあい館

日時：平成27年11月17日（火）、12月1日（火）
13:30~15:00
講座は計2回。（2ヶ月にわたって作成します。）

費用：材料代1,100円

準備物：お手拭タオル

申込締切：10月16日（金）

※詳細は下記へお問い合わせください。

平岩ふれあい館

TEL：57-2324

担当：細山田



香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

平成27年8月分

| 喪主(または寄付者) | 故人 | 地区 |
|------------|-------|------|
| 那須千早 | 那須行義 | 坪谷 |
| 鈴木ミネ子 | 鈴木幸男 | 庄手 |
| 蔵田宜数 | 蔵田千代子 | 亀崎中 |
| 田代正純 | 田代タケヨ | 寺迫 |
| 飯干啓子 | 鈴木ヨシノ | 西草場 |
| 川辺誠治 | 川辺順子 | 切島山2 |
| 高木陽子 | 高木正敏 | 堀一方 |
| 松木義信 | 松木マルエ | 広見 |
| 橋口佐由美 | 橋口カトリ | 宮の下 |
| 和田稔 | 和田立子 | 仲深 |
| 治田義明 | 治田チヅ子 | 比良 |
| 寺原典子 | 寺原正仁 | 新財市 |
| 直野幸二 | 直野ユリ子 | 福瀬 |
| 外園廣義 | 外園紀子 | 長江 |
| 成合満壽枝 | 成合秀夫 | 鶴野内 |
| 甲斐萬 | 甲斐スミ子 | 迎洋園 |
| 児玉慶三 | 児玉今朝義 | 曙 |
| 龍原興 | 龍原八郎 | 庄手 |

〈物品寄贈寄付者〉敬称略

平成27年8月分

| 氏名 | 地区 | 物品 |
|------|-----|-------|
| 川元正共 | 大王谷 | コタツ一式 |
| 高木陽子 | 堀一方 | 紙おむつ |
| 黒木正文 | 曾根 | 紙おむつ |

社協日記

今年の夏は、気温が30度を超す真夏日の日が何日もありました。社協は、市から6つの放課後児童クラブを受託して運営していますが、小学校の余裕教室を活用している3つの児童クラブには冷房の設備がありません。

夏休みに、その3児童クラブを訪問しましたが、室内の扇風機は涼風というより生ぬるい風を運んでいました。子どもたちは、暑さで赤くなった顔をタオルで汗を拭き拭き、水分を補給しながら過ごしていました。

ふるさと応援寄附金は、日向市出身者の方などに寄附金を通じて市の取り組みを応援してもらう制度です。ふるさと納税ともいわれ、個人が2千円を超える寄附を行ったときは、住民税のおよそ2割程度が所得税から還付、住民税から控除されます。

今年の9月定例日向市議会において、冷房設備のない児童クラブに設備を設置する経費等の補正予算が可決され、近く整備されることになりました。ふるさと応援寄附金の一部が児童クラブの施設整備に活用されることになり、寄附された方もきっと喜ばれていることでしょう。児童クラブは、児童の健康管理、安全確保等の役割も担っており、受託している社協としても歓迎しています。今後とも、児童クラブが安心して子育て支援ができる施設として、運営を心がけていきたいと考えています。（ひこぴー）

日向市社会福祉協議会 福祉賛助会費のお礼

企業や団体の皆さんに福祉賛助会員として協力していただいております。

平成27年8月分

（協力順）

日向市役所部課長親交会 様

日向市市役所係長会 様

吉原建設（株）日向支店 様

（株）日向衛生公社 様

これからも福祉賛助会員を募集してまいります。
詳しくは、総務課総務係までお問い合わせ下さい。

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

〔日向市ボランティア・市民活動センター〕

きいちゃん



ひまたん〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

